



伊豆市

# 議会だより

No.12

発行：伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集：議会報編集特別委員会  
〒410-3292 静岡県伊豆市市山550 TEL 0558-85-2606 2007.5.1発行



進級したお兄さんお姉さんも、入園したお友達も、大きな声で元気よく歌えました！

(4月9日湯ヶ島幼稚園入園式)

## 目次

CONTENTS

- 3月定例会の概要 ..... 2
- 市長施政方針演説から ..... 3
- 委員会審議での主な質疑 ..... 4
- 一般質問 ..... 6
- 市議会を傍聴して ..... 12

## 平成19年度予算審議の結果、可決されました

一般会計  
152億1,700万円



平成19年度  
3月定例会

【平成19年度会計別当初予算】

単位：千円

会計名	18年度予算額	19年度予算額	増減	
一般会計	15,477,000	15,217,000	▲260,000	
特別会計	公共用地取得事業	110	1,690	1,580
	天城北道路用地取得	154,010	127,980	▲26,030
	国民健康保険	3,814,600	4,150,600	336,000
	老人保健	4,091,300	4,006,750	▲84,550
	介護保険	2,315,700	2,648,900	333,200
	簡易水道事業	81,500	63,820	▲17,680
	下水道事業	1,721,750	1,741,500	19,750
	農業集落排水事業	119,300	113,800	▲5,500
	湯の国会館事業	90,800	87,470	▲3,330
	天城温泉会館	106,800	99,010	▲7,790
	天城ふるさと広場事業	92,864	97,300	4,436
	昭和の森会館事業	69,000	0	▲69,000
	上水道事業	594,042	631,133	37,091
温泉事業	112,250	160,780	48,530	

※昭和の森会館事業は19年度から一般会計予算に統合となりました。

3月定例会が2月26日から3月16日までの19日間の会期で開かれました。  
平成19年度予算関係14件、平成18年度予算関係6件、条例関係12件、人事関係3件、その他9件、意見書2件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決、同意されました。

## 議案のピックアップ

◆地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の制定について

改正により、助役を副市長、収入役制度の廃止による収入役の削除など、関連する条例を制定するものです。

◆伊豆市教育委員の任命について  
荻原勝利氏の任期満了に伴い、佐藤俊夫氏（戸倉野）が同意されました。

◆伊豆市固定資産評価審査委員の選任について  
任期満了に伴い、植松楯彦氏（月ヶ瀬）、鍵山和彦氏（土肥）、遠藤護氏（柏久保）、海老名秀一氏（原保）が同意されました。

◆人権擁護委員候補者の推薦  
塩谷文治氏の任期満了に伴い、佐藤勝恵氏（大沢）の推薦に対し同意されました。

## 大城市長の 施政方針から



### ◆財源

歳入の確保については、地方交付税の現行法定率の堅持と、一般財源の確保が基本として示されているものの、地方財政規模削減が前提とされており、税収の伸びに伴う法定率分の増加について、交付税特別会計の借入金返済に充当されることから、地方交付税の交付額について、今後も非常に厳しい状況が続くものと思われま

### ◆新たな取り組み

新たな動きとして、天城ふるさと広場の中のひらつか天城山荘等の一連の施設が伊豆市に移管されたことに伴い、天城ドームの管理運営をふるさと広場事業の中で一括管理とし、年度途中から指定管

## 自然エネルギーの重点プロジェクトを精力的に推進

理者制度へ移行を予定しています。また、学校給食施設の統廃合として、天城と土肥給食センターを統合し、平成20年度から天城給食センターで一括して調理配送をします。さらに、保育所の民営化については懇話会等を開催してきましたが、本年1月から民営化法人選定委員会を設置し、委員と保護者との意見交換の場を設けるなど慎重に検討しております。

### ◆行政改革・情報セキュリティ・自然エネルギーなどを推進

来年度も、厳しい行財政の中にあり、効率の良い予算執行を目指して集中改革プランに基づきコンパクトな行政運営に努め、行政評価システムの導入に向けて行政改革推進室を立ち上げます。また、情報セキュリティについても、内部監査及び外部監査を段階的に実施し、信頼度の高い市政運営に努めます。さらに、伊豆市地域新エネルギービジョンにおいて示された、自然エネルギーを生かした重点プロジェクトの導入等を精力的に推進します。

## 意見書・請願

3月定例会で意見書・請願を採択し関係機関に提出しました。

### 「がん対策推進基本計画」の早期決定を求める意見書

がんは、日本人の死亡原因の第一位であり、罹患率、死亡率ともに上昇を続けています。今後、日本で立ち遅れてきた「がんを診断された時からの緩和ケア」の実施や、需要が増加している「放射線治療」の充実など、実効性のあるがん対策を大きく前進させるために、国に対して「がん対策推進基本計画」を早期決定して、がん情報窓口の整備など患者の立場に立った、総合的な取り組みの推進を求めました。

### 医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書

全国的に小児科や産婦人科などにおける医師不足が深刻な問題となっており、伊豆市もその例外ではありません。地域住民が安心して生活するために、地域医療の再構築に向けて総合的なビジョンを早急に策定することや、救急医療体制の整備・維持、周産期医療体制の整備維持のための支援策の拡充を図ることなど、10項目の具体的な施策を挙げて、政府の取り組みを求めました。

### 遠距離通学費補助制度の見直しを求める請願

継続審査となっていた「遠距離通学費補助制度の見直しを求める請願」は、本会議で採決の結果、採択されることとなりました。





それに伴い、地域包括支援センター係りを現在の4人体制から19年度は臨時を含め10人体制とする予定です。

### 観光経済委員会

◆有害鳥獣対策について

質 予算が、昨年と同じだがいいのか。

答 鹿の捕獲頭数は、15年度が3,192頭、16年度が3,600頭、17年度が3,962頭（県のデータ）ですが、減つてないようた。猟友会の後継者を増やすことや、生産者の方たちも被害防止の組織を作るなどの意見を参考に、対策を考えていきたい。

◆観光協会への補助金について

質 補助金の一本化と補助要綱とは。

答 運営補助金と、土肥サマーフェスティバル、天城ほたる祭り、修善寺もみじ祭りなどの事業費を一本化した。補助要綱は、市の交流人口の増大に努め、観光振興に寄与する事業を実施する伊豆市観光協会に、入湯税の45%以内で、か

つ、予算の範囲内で補助金を交付します。

◆中伊豆体験農園について

質 自主運営はいつから。

答 ラウベは100%加入があります。現在農園の管理組合が苗の販売やイベントなどを行い、収入を得ながら運営しています。できれば2、3年をめどに、全面的な指定管理を予定している。



「おいしいお芋が育つといいね！」  
中伊豆体験農園にて

◆万天の湯について

質 使用料150万円の補正理由は。

答 当初の見込みより入湯客が増えたための増額補正です。昨年9月から今年2月までの入館者は7,430人でした。

### 土木水道委員会

◆農業集落排水事業

質 合併浄化槽補助申請の締切り時期は。

答 11月に締め切られるが、事務の関係で締め切っているだけ。以後の申請でも受け付けている。

◆簡易水道事業

質 持越、金山水源の管理道借地料は。

答 借地料の占用料は山葵組合で負担している。

◆下水道事業

質 中伊豆地区の利子補給制度の状況は。

答 中伊豆地区のみ無利子の貸付制度になっている。利子補給制度に統一を研究していきたい。

◆上水道事業

質 八幡の配水タンクの構想は。

答 六仙の里付近に1,000トントラックを計画している。財源をどうするか、財政当局と詰めている。

◆土木部関係

質 地籍調査の状況は。

答 （修善寺地区）柏久保地区を  
実施中、以後は休止を検討中。  
（土肥地区）土肥中心部にむかい  
すすめていく。  
（天城湯ヶ島地区）平地地区は終了のめどがついた。  
（中伊豆地区）上大見地区はあと  
2、3年で終了の見込み。

### 伊豆市地区別水洗化率

参考資料

地区名	世帯数	未接続	接続戸数	区域内人口 (人) A	未接続人口 (人)	接続人口 (人) B	水洗化率 (%) B/A
修善寺	4,590	849	3,741	11,167	1,508	9,659	86.5
土肥	1,226	83	1,143	2,902	176	2,726	93.9
天城	633	188	445	1,939	657	1,282	66.1
中伊豆	949	443	412	2,925	1,500	1,425	48.7
計	7,398	1,563	5,741	18,933	3,841	15,092	79.7

■水洗化率=下水道に接続した人口÷下水道が使える地域の人口×100

# 市政を問う 一般質問

3月定例会での一般質問は、3月12日・13日の2日間に、18名の議員が43件について行った。質問と答弁を要約してお知らせします。

※紙面の都合上、一議員一質問です。詳しくお知りになりたい方は、各図書館・議会事務局で会議録をご覧ください。

## 給食費未納状況とその対策について

質問

1月の静岡新聞に、県下の公立小中学校の17年度の給食費未納状況が出ていた。それによると、伊豆市の未納状況は16校中11校に未納者があり、近隣の市町村に比較して未納率は高い。18年度の未納状況及びここ数年間の納入傾向、今後の未納金徴収について、どのような対策を考えているか。

木内一郎 議員

## 未納金徴収には更なる指導を

答弁

平成17年度未までの滞納額は、過年度と合わせて149万円です。給食費は、2月まで集金しているが、3月に未納保護者に通知し、学校で指導、徴収を行っている。それ以後は、教育委員会が未納金徴収を実施している。全国では未納金の削減を図るために、いろいろな方法が取られているが、今のところ特別な措置を導入する考えはない。

## 特別支援教育支援員の拡充を

質問

学校教育法が改正されて、障害のある児童生徒に対して特別支援教育が行われることになるが、発達障害の子どもへの対応や教員の確保はどうなるか。

杉山 誠 議員

## 支援員の増員を要望していく

答弁

伊豆市では、国の指定を受けて特別支援教育の研究実践を行ってきた。その推進には人的配置が最も重要と考えているので、19年度では国の措置額を上回る予算計上をして16名の支援員を配置する。特別支援が必要な子はどの学校にもいる現状から、今後すべての学校に支援員配置をしていきたい。

## 「子ども育成課」について

質問

就学前の幼児教育は、保育園が健康福祉部、幼稚園は教育委員会と分かれていますが、子育てに共通する課題や相談も、分散した支所や窓口で不便です。「子ども育成課」を作り、窓口の一本化に向け検討を進めたいとのことでしたが、どう進んでいますか。幼保一元化に向けて方向を示して欲しい。

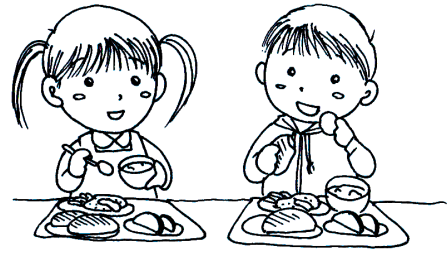
室野英子 議員

## 調査研究し検討を進めたい

答弁

保育所、幼稚園、子育て支援事業等、健康福祉部と教育委員会の子どもに関する事業について、調整を行ってきましたが調整ができていません。他市町の状況を調査研究し、検討を進めたい。子育て支援の方向については、伊豆市次世代育成支援行動計画を策定したので、この計画に沿って子育て支援を進めている。





「すぐやる課」(仮称)の新設を

質問

今、あらゆる事がめまぐるしく変化をしています。スピード化の時代です。市民サービスも迅速な対応が求められます。その観点から「すぐやる課」を設け、サービスのスピードアップを図り、市民との信頼感を深める事が大切です。様々な問い合わせの窓口として、効果が期待できると思いますか、いかがですか。

内田勝行 議員

答弁

伊豆市において、小規模な道路補修や水路河川補修などは、建設課、農林漁業整備課や支所の地域振興課で対応しています。「すぐやる課」を作ることとは、課を増やして、行政改革からすると反するところもあるので、十分に検討してからとさせていただきます。

現況の組織で対応したい



大城市政の集大成の内、適正職員数について

質問

合併協議は時間の無い中進み、当然審議不十分項目も出る。「10年間で110名職員削減」計画も数字根拠は薄い。一日も早く適正職員数を算出し、職場配置をする事は合併の第一的であり、役所も議会も自分の足元から改革をしなければ市民協力は得られない。一般行政職とその他の職員の本立て計画を求める。

三須重治 議員

計算だけではないが、できるだけ数値化した目標で

答弁

職員の定数については、人口当たりの一般的な数字は承知しているが、市役所機能が分散しており、行政コストの計算だけではいかなないところがあると思う。部門別考察など様々な視点より、数値化した指標で、業務の効率化、行政改革を進める中で、あらゆる方策を検討していきたい。

パソコンの不正使用は全容解明されましたか

質問

①平成16年4月から不正使用ではありませんか。②10,000件をこえるアクセスがありました。間違いですか。③アクセスした端末は539台です。間違いありませんか。④全容解明されましたか。内容を伺いたい。⑤これではすべての職員が遊んでいたと指摘されても仕方ありません。いかがですか。

森 良雄 議員

確認できない

答弁

①データ無しのため確認できません。②③については情報開示されたとおりです。④⑤については今までの議会定例会で申し上げてきたとおりです。

この件では関係者の処分を行い、パソコンの不正使用を防止する対策を講じております。

(平成18年3月、6月議会より)

過疎地域と安心・安全について

質問

高齢化と人口減少は依然と進行しています。先日、資料を戴き調査したところ、「限界集落」が増加していました。安心・安全という面からも集落の統合について考える時期が来ていると思いますが、市長の考え方を伺いたい。

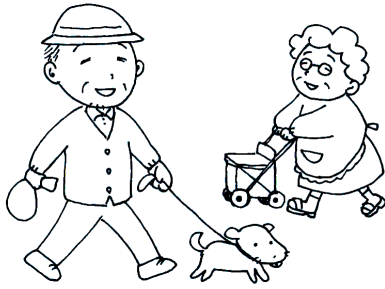
酒井勲一 議員

集落の再編を今後検討

答弁

「限界集落」の問題は過疎化が進み、従来の集落、自治会がその機能を成し得なくなってきたことです。65歳以上が50%を超えている集落もあるかと思っております。集落の再編は全国的な問題であり、伊豆市においても自治体組織のあり方について、検討すべき時期に来ていると思っております。

\*限界集落とは…高齢化が進み、共同体の機能維持が限界に達している集落。(定義)65歳以上が人口比50%以上



少子高齢化の中で街を元気にする施策は

質問

一、少子高齢化の中で「少子化」阻止の行政手立ては何かありますか。  
二、少子高齢化の中で「定住人口」の増加に対する伊豆市の手立てはありますか。

磯 晴雄 議員

現在、決定的な施策はない

答弁

一、少子化阻止に現在のところ行政手立ての決定的なものはないが、伊豆市次世代育成支援行動計画を進めることで、少しでも少子化の流れを変えたい。  
二、定住人口の増加の手立てとして、まず受け入れる地域の意向を確認した上で、調査・検討をしたい。

地域の活性化と職員のかかわりについて

質問

地域の活性化のために、地元の方が地域興しを目的に各種イベントを行っています。これらの活動に対して、職員の参加が少なく、行政のバックアップもないようです。

地域の活性化のため、積極的にかわかっていくようにすべきだと思いますが、市長の考えは。

飯田正志 議員

一市民として積極的な貢献を

答弁

今まで主に、休日、夜間の行事に関わってきたと承知している。公務外に積極的に地域づくりのために活動している職員は相当数いると認識している。

職員もオフタイムなので、個人的事情も配慮すべきだが、地域の活性化に一市民として貢献すべきだと考えている。



地域活性化のために開催されている「ずいやあじゃ天城」



来年の3月に廃止となる有線放送。市民の情報媒体として親しまれてきました。



**JA有線放送の廃止と情報発信**

**質問**

一、市は有線放送送業務を引き継ぐ考えは。また、これに代わる市民向け情報発信手段や方法を考えていますか。  
 二、現在の防災同報無線をフォロイする手立てを考えていますか。  
 三、光ファイバー網を拡大して、市の公共イントラネットを一般市民まで延ばす考えは。

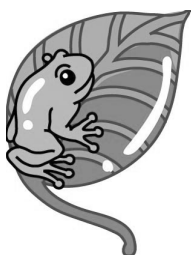
飯田宣夫 議員

**答弁**

一、有線放送は土肥地区が加入していないことや、老朽化で交換部品が製造中止となつて維持管理が困難であるため引き継ぐ考えはない。葬儀などのお知らせを広報等で補うことは現在のところ考えていない。  
 二、FM波による「防災行政ラジオ」を防災無線放送の難聴対策として検討中。  
 三、今後の検討事項と考えている。

**今後の検討事項である**

\*公共イントラネットとは…市役所と市内の公共施設(公民館、学校等)を光ケーブルで結ぶ高速の情報通信ネットワーク



**高田用水に関して**

**質問**

平成16年に発覚した某企業の水利権の侵害は、看過することのできない問題です。用水は新河川法でも慣行水利権として保護されています。これまでの行政の答弁を振り返りますと、農業政策、振興の観点からその姿勢が問われています。占用許可の取り組みと同様な事が派生した際には、地区で解決するのが市の基本姿勢ですか。

大川 孝 議員

**答弁**

伊豆市河川条例に基づき対応していく。一、二級河川については、市は管理者でないため回答は控える。水利権については、過去からの経過があるので、当事者及び河川管理者の間で解決される事が、将来のことを考えると一番の良策と思う。

**当事者同士で話し合い、地域で決を**

**船原峠をなぜ40キロ規制にするのか**

**質問**

トンネル付近での規制なら、賀茂地域では規制がないし、凍結の為なら夏季は問題がない。直線で見通しの良い峠の40キロ規制は、多くの人が疑問を持つ。改良して時間短縮をはかるべきところを、現状はこれを守れないような規制で、多くの方が不満に感じている。市としてどの様に対応するつもりか。

関 邦夫 議員

**答弁**

速度規制は、道路の設計速度や構造、交通状況等を考慮した県の公安委員会の決定事項であり、したがって、私はお答えできません。  
 議員ご指摘のような状況であるならば、県の公安委員会に対して要望すべきと思います。

**速度規制は県公安委員会へ**



温泉施設、文化施設、レストラン等の複合施設  
天城温泉会館



天城温泉会館で行われた井上靖生誕100年  
イベント「しろばんば」劇での一幕

天城温泉会館の運営に  
ついて



市営施設運営委員会に  
諮問

質問

天城温泉会館は、地産地消の拠点や、「しろばんば」の里としても地域活性化の核となり、伊豆市の発展の一翼を担えると思う。このまま市の直営で運営していくのか。「虹の郷」のように指定管理者の方向が検討されているのか何う。

古見梅子 議員

答弁

本年、井上靖生誕百年祭が実施され、天城温泉会館を利用した色々なイベントが計画されている。この地は井上先生の「しろばんば」の舞台であり、この記念祭を契機として、文学散歩の拠点となるよう期待している。昭和の森会館、湯の国会館を含む三施設の今後の運営について答申が出され次第、議会に報告し方向を決定したい。

ごみ焼却場の建設に向けて



理解を得る努力を  
続けたい

質問

ごみ焼却場の場所の選定は、ダイオキシンによる健康への影響を中心に議論すべきと思います。一、大都市では人家密集地に設置しています。現柏久保設備も含め住民への影響調査が必要と思うが、市長の考えを伺います。二、専門家を雇い、科学的根拠を明確にしながら進めるべきと思うが、如何でしょうか。

小野忠宏 議員

答弁

住民への影響調査は、これまで引き続き、今後も情報収集に努めます。現在の伊豆市清掃センター周辺は住宅密集地で、近くに農地や学校もあるが健康被害の情報は特に無い。平成17年度生活環境影響調査でのダイオキシン類は、環境基準値を大幅に下回っています。学識経験者については検討したい。

ごみ焼却場建設の測量  
調査費を提案した理由は



さらに住民との  
合意形成を

質問

堀切地区は、ごみ焼却場建設の白紙撤回を（測量・地質調査など一切の手続きの停止を含め）市長に求めている。住民と合意なしに建設しないと約束しながら、なぜ新年度予算に測量・地質調査費などを提案したのか。建設地周辺の住環境に影響はないというなら、なぜ候補地選定の経過内容を公開しないのか。

木村建一 議員

答弁

予算においては、合意形成の遅れや、万が一、合意を得ることができない場合には、予算執行はできず、早期施設整備は更に困難になります。公表については、自らの地域に建設される住民の方々は、様々な見解をすることが想定され、更なる混乱等が懸念されるため、公表する考えはありません。

合併特例債の活用について

新市建設計画を精査

質問

発行可能額は171億円で、利用期間は10年間と決められている。現在の利用事業として、火葬場整備事業、天北道路のアクセス道路、合併支援助道路整備負担金等で約25億円が必要となる。残り6年間で、約140億円の特例債をどう有効利用するか、夢のある計画を伺います。

山下 一 議員

答弁

交付税措置のある起債とはいえ、後年度の財政負担が生じるものであり、借入には、その点を考慮する必要がある。今後の合併特例債の充当は、その条件にある新市建設計画に掲載された事業を十分精査し行っていきたい。

企業誘致と起業家育成のための、窓口の設置を

地域の産業振興と、雇用確保のため検討

質問

県道修善寺・天城線、天城北道路大平インター、東駿河湾環状道路等の供用を控えて周辺の環境整備に伴い、伊豆市発展のための十分な配慮が必要と考えます。人口増、雇用、税收等を考えた場合、企業誘致、起業を考える人達のための窓口の設置が必要と考えますが、市長の見解は。

加藤 章 議員

答弁

企業誘致と起業家育成のための窓口設置ですが、企業誘致につきましては、地域の産業の振興及び、雇用の確保等から重要な課題と捉えております。今後、関係部局より意見を聴取し、検討すべきと考えます。議会の皆様方にも、ご協力をお願いいたします。

修善寺駅周辺整備事業の進捗と今後について

駅前は、25年度までに整備

質問

修善寺駅周辺整備事業については、過去3年間にわたりいくつかの計画策定業務、合意形成業務が行われていますが、その進捗状況について伺います。

小森勝彦 議員

答弁

駅前再生計画は、修善寺駅前周辺整備の基本計画となるものであり、現在検討、策定を進めている状況です。事業の実施時期は、各種関係機関との合意形成が必要であり、相応の期間が必要と考えます。合意形成を図った後、事業実施につなげて行き、平成25年度までに整備を進めたい。



伊豆市の玄関口、修善寺駅前



# 議会傍聴へ行ってきました

「ちよつと前向きな姿勢を」

菊地 豊さん 48歳

(本柿木)

私はこの度、初めて市議会を傍聴させていただきました。傍聴した三日間、いずれも市民生活に密着した具体的な問題について議論され、行政側及び議員の方々の伊豆を思う真摯な姿勢に敬意を覚えた次第です。

私はまだ、生まれ故郷に戻って一ヶ月余りしか経っていませんので、市内の現状について精通していません。ですから、本当に小学生が初めて議会を見たような素朴な感想を書き記してみたいと思います。

まず、基礎自治体の議会として、市民生活に最も近い存在である、ということに改めて感じさせられました。ある議員の方が、「区の要望がいかに反映されているか」を取り上げておられました。これなどまさにその好例です。国の

レベルでは、主催者が「サイレント・マジョリテイ」（沈黙する多数）になりますので、住民の要望を直接反映させようとすると「声の大きな者が得」になってしまいます。しかし、市の行政ではいかに住民の声を聴き、反映させるかが重要であると感じました。

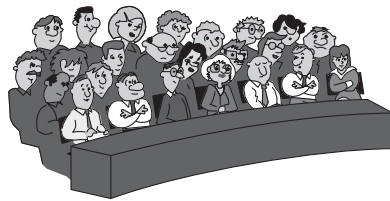
また、行政・議会いずれの方々も、我々の街をより良くしたい、という一点では一致していることです。国会を模した対面型の議場で、あたかも対立しているように見えますが、伊豆市を思う姿勢に差異はないと感じました。例えばですが、百人いたとして、五十人が一歩前に出ても、五十人が一歩後ろに下がれば、結果はゼロになってしまいます。でも、全員が「半歩」前に出れば、全体として五十歩前に進むこととなります。そんな、ちよつと前向きな姿勢を、議場の方々にお願ひしたいと思いました。

## 議会傍聴をしてみませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。

開会当日、天城湯ヶ島支所2階議会事務局受付へお越しください。  
なお、団体の場合は、事前に議会事務局までご連絡をお願ひします。

(議会事務局0558-8512606)



### 6月定例会の予定

場所	天城湯ヶ島支所	議場
時間	午前9時30分	
6月8日(金)	議案上程、提案理由説明	
11日(月)	一般質問	
12日(火)	一般質問	
13日(水)	議案質疑	
21日(木)	委員長報告・質疑・討論・採決	

※変更となる場合がありますので、ご承知ください。

## 編集後記

地球温暖化の影響か。議会だよりの編集に携わってきたこの一ヶ月、例年のない温度変化に驚かされましたが、さすがに春本番、緑がまぶしい季節となりました。

平成十九年度予算が成立し、合併四年目の伊豆市が始動しました。厳しさを増す財政状況の中、いかにして市民の満足度を増すことができるか、議会の真価が問われるときでもあります。市民の負託を受けたものとして、いかに状況が厳しくても、未来を見つめて前向きに行動していきたいものです。冬は必ず春となることを確信して。

編集委員一同、今後とも市民の皆様には議会への関心を高めていただけるよう、知恵を絞る努力を続けてまいります。どうぞご意見をお寄せください。

副委員長 杉山 誠

